



入中だより

令和7年6月 20日 (水)

No.7 熊野市立入鹿中学校

<http://www.kumano-city.ed.jp/jsiruka/>



キャリア教育講演会 6/5(木)

キャリア教育講演会第2シリーズは図書館司書の山内千夏さんです。山内さんは准看護師の資格をお持ちです。その資格を活かして児童指導員として児童関連施設で現在も働いていらっしゃいます。いわば児童指導員と図書館司書の二刀流というところでしょうか。

山内さんに「おすすめの本は？」と尋ねると詳しく魅力を解説してくださいます。本のことが好きなんだなあと感じます。「なぜ図書館司書になったのですか？」と尋ねると、子どもの頃から本が好きで、児童指導員として働きながらも、やはり「本に係わる仕事がしたい」と思い、資格を取り図書館司書を派遣する会社に就職されたそうです。

どんな仕事に就くのか、どのタイミングで仕事を選ぶのか、人それぞれです。山内さんのような二刀流の方も、世の中には相当数いらっしゃると思います。二刀流は大変だと思いますが、それが二つともやりたい仕事、やりがいのある仕事であったなら、これほど充実した人生はないかもしれません。生徒には多くの人から多様な職業に対する価値観や考え方を学んでほしいと考えています。その上で、一人ひとりが自分の進路や生き方について考えるとともに、**自己実現に向け今何をすべきか**についても考えてほしいと思っています。



FBC 水やり風景 6/6

毎日、生徒は登校してすぐ、育苗ポットに水やりをしてくれます。次々の発芽しています！順調に育ってほしいですね！



職場体験学習 6月12日(木)13日(金)

2・3年生が職場体験学習を行いました。「楽しかった！明日も行きたい！」と話してくれた生徒もいました。子どもたちは働く人と直接触れ合うことで、働くことの意義や喜び、厳しさを実感したと思います。この体験を自分の進路選択の参考とし、さらには自分の生き方を考えるきっかけにしてほしいと考えています。

有馬幼稚園



さぎりの里



市立図書館



入鹿保育所



福祉体験学習6月13日(金)

熊野市社会福祉協議会より講師を招聘し福祉体験学習が行われました。社会は多様な人で構成されています。その中には障がいのある方や高齢者もちろんです。多様な人々が共生する社会の中で、みんなが幸せに生きていけるように、社会を構成するすべての人には、その多様性を理解する義務があると考えています。社会モデルという考え方があります。「障害や困難の原因を、個人ではなく社会や環境に置く考え方」です。例えば、足が不自由な方が階段を登れないのは、その方のせいではなく、そのような環境に整備している社会の問題であるという考え方です。子どもたちにとって今回の体験が、多様な人が幸せに生きられる共生社会について、より深く考えるきっかけになればいいなと思います。

